寺社を巡る会

活　動　記　録　書

開 催 日：平成２８年３月３日（木）	開催テーマ：都筑の丘に点在する古刹を訪ねる
開催場所：都筑地区	記 入 者：寺田　英男

参加人数：寺社を巡る会会員　　男２７名　　女５名　　計３２名
　　ビジター　　男　　名　　女　名　　計　　名
　　合　　計　　３２名

実施内容（実施の項目、方法、効果・成果、宿題　など）：

コース：仲町台駅～折本農業専用地区～淡島神社～早苗地蔵～真照寺～源東院～東方農業専用地区～天満宮（昼食）～龍雲寺～以津院（法話拝聴）～浄念寺跡～宗忠寺～鴨居駅（解散）

奈良時代にはここに郡役所が置かれていたなど都筑は歴史のある土地である。昭和までは雑木林が続く丘陵地帯だったが、横浜市の港北ニュータウン建設事業の折、縄文・弥生時代の遺跡が数百発掘されたと言われる。現在も諸所に点在する古刹と往時の面影を辿り、訪ねた。

仲町台駅からニュータウン計画の一環として確立された都市型　折本農業専用地区を廻りながら、淡島神社に着く。祭神は小彦名命以下４柱。江戸時代以前、和歌山加太の淡島神社より分祀鎮座したといわれる。江戸から多くの女性が針供養のため訪れていたと言う。折りしも 3 月 3 日は大祭祭礼中で女性達の賑わいに出くわした。

次に早苗地蔵、天文年間　了信という旅の僧が村の水不足解消のため、村人達と山の開創を完成させ、その恩徳を偲び安置した石仏。　続いて清龍院真照寺、浄土真宗大谷派　親鸞、蓮如の大きな像がある。名木古木が多く百日紅や白もくれんが立派。詩人、作詞家の佐藤惣之助がこよなく愛したと言われる自然の中の寺である。

次は源東院西光寺、この辺りは浄土宗の寺院が多い。本日訪れた寺跡を含め６寺のうち４寺が浄土宗、天文年間　小田原北条氏の時代が何か関係あるのか。ここにある子安弁財天は黒色立像、厨子の内側は金箔で極彩色の七福神が描かれている。

再び東方農業専用地区を通過し、次に東方天満宮、祭神菅原道真公、創立不詳。250 本の紅白梅、中には中国の緑萼梅もある。ここ梅ノ木の下で昼食を摂る。

午後の最初は浄土宗燈松院龍雲寺、ここの名古木　菩提樹の下に釈迦の苦行像がある。

続いて曹洞宗の寺院、以津院、かっては山寺だった名残を今も残す。室町後期の開創。本堂において住職の法話を拝聴する。江戸時代寄贈されたという十六羅漢が安置されている。像としては珍しく金箔が施されている。

この後、関東大震災で消失した浄土宗、浄念寺跡を見ながら最後の参拝は、隆香院宗忠寺、浄土宗。文禄 3 年、領主小笠原宗忠による開基。10 年前に建立の山門は立派。宗忠は徳川家康の幕下で功をあげ、この領地を賜り、更に関が原役後犬山、佐倉、笠間等の城主を勤めた。引退後、当地へ戻り小学校教育等に力を注いだと言う。春うららの中、ららぽーと横浜を経由し鴨居駅まで歩き解散した。

参加者の状況・意見など：

春うららの好天に恵まれ、良い探訪が出来た。尚、本日はガイドの会の事情で 2 班体制で実施した。

次回の予定：

４月７日（木）１０：００　横浜高島屋前(横浜駅西口交番前辺り)集合　神奈川区豊顕寺地区